



くわた恭子

http://www2.ocn.ne.jp/~kyoko/通信

発行 H20年1月1日
 発行者 広島市議会議員 くわた 恭子
 事務所 〒731-5153 佐伯区河内南2-30-2
 TEL929-2930 FAX929-2928
 OPEN 9:00~12:00/15:00~18:00

地域の皆様 新年あけまして おめでとございます。いつも通信を読んでいたことで、ありがとうございます。昨年引き続き 本年もどうぞ よろしくお原真いたしました。前回の9月議会は 不名誉な辞職勧告決議案が提出されました。辞職勧告に対する会派の対応に納得できず、また、議会改革を進めていたため、11月22日、会派と脱会

新会派 **ひろしま未来クラブを結成しました**
 中区の馬庭恭子議員、西区の豊島岩白議員と私の3人の会派です。小くとも 誇りと光る常識のある会派でありたいと思っていり。12月議会が 結成後初めての議会でした。3人、議論を戦わせて、何故、この議会を終えたい、これから一人ひとりが、盛り上げていきたいと思っていり。心はほろりす。



広島市職員給与は上位85自治体中5位の高額給与です。

今回は、期末勤勉手当を0.05ヶ月値上げするもの・・・当然反対しました。職員給与は、民間比較以外の要素を入れるべきではないとの答弁がありました。破綻寸前の広島市の財政状況と職員給与は何の関係も無いことになるのでしょうか

今回の職員の給与改定の内容は①休憩時間の廃止・②期末、勤勉手当の値上げ③給与構造改革の3点

①4月から休憩時間を廃止

休憩時間が廃止されます。以前のくわた恭子通信で報告いたしましたが、広島市には有給の休憩時間と無給の休憩時間があります。今回の改定で、有給の休憩時間を廃止。常識的な勤務形態に移行・・・私が一般質問で指摘したように、30分きちんと働けば約750人分の労働力が発生します。廃止に伴い人件費60億円削減が期待できます。来年度の職場編成がどのようになるのか？大いに期待しています

← 昼休み →				
8:30~12:00 労働時間	12:15 休息	~13:00 休憩	13:00~17:00 労働時間	17:15 休息
← 勤務時間 →			← 勤務時間 →	
(20年4月~)				
← 勤務時間 →		昼休み	← 勤務時間 →	
8:30~12:15 労働時間	~13:00 休憩		13:00~17:15 労働時間	

私は、有給の休憩時間という、一般市民に理解されないものは、廃止するべきだと議会で指摘しました。休憩時間を廃止する方法は、いろいろありますが、昼に1時間休憩したのならば、勤務の終了を17:30にすればいいし、今と通り 帰りたいのなら 昼休みは45分、とに20分働かずに給料を支払うのがおかしなことです。廃止に反対した会派もあれば、世間の常識は廃止する。廃止したおかげに、

②期末勤勉手当の0.05ヶ月アップ

市長、副市長の特別職の職員期末手当を0.05ヶ月、一般職の職員の期末勤勉手当を0.05ヶ月値上げをするもの。平均一人年間20000円のアップとなり、全体では、約2億8000万円の所要額となります。

どうして今値上げが出来るのか

厳しい財政状況だが、人件費の削減目標を達成できているので、賃上げをおこなったもの、他都市に先駆けて人件費削減に取り組んできたので・・・でも政令市で3位の高給職員

広島市の給与は、総務省調査データの推計は年間796万円、日本の上位85自治体の第5位。広島県は68位689万円。民間給与は平成18年度434万円、9年連続の減で、年々200万円以下の低所得者層は1000万人を突破、300万円以下は全体の4割に上っています。県は給与カットを実施、市はカット廃止さらに賃上、さらに増大退職金払うため市債発行と予定している。

議員の期末手当は修正案を提出/可決

当初は、市議会議員についても同様に 期末手当アップが色目ありましたが、議員については、修正案を提出し、現在の給与と改定額を据え置くことで可決しました。

③やっと給与構造改革に着手

人事院勧告が今回の勧告の中に、珍しく厳しい意見を入れていました「年功的な給与上昇を抑制し、職務、職責や勤務実績を反映するように勧告してきたが、未だ給与構造改革を行っていないのは、はなはだ遺憾である」と・・・これを受けて今回給与構造改革に着手しました。着手はしても、肝心の人事評価は当面今まで通りなので、どこまで現実的な評価ができるのか疑問があります。今後を見守りたい

構造改革の中に面白いものがありました

面白いもの① 在職する級の最高号級を超える昇給を廃止する・・・なんだこれ〜
 「国も他の自治体も100%行っているものです」との説明でした。たとえば課長補佐級の職員は29号級が最高なのですが、課長に昇進しないままだと、枠を超えて昇給します。今年度の調査では行政職5535人のうち197人が号級を超えて昇給していました

面白いもの② 職員健康保険組合の事業主負担率の見直しを行う

どこの会社でも、健康保険は事業主が1、本人が1の割合で負担しているものだと思っていましたので、負担率の見直しといわれて、どういうことかと思って聞いてみますと・・・
 H11~12年 H13~14年 H15~18年 H19年
 1:2.43 1:1.94 1:1.5 1:1.27
 毎年、割合は組合との話し合いで決めるのだそうです。財政非常事態宣言が出された以降も、健康保険組合には法外な事業主負担=借しげもなく市税が投入されています。H12年の保険料総収入約66億、うち事業主負担は46億円 1:1に比べると13億円も余分に市民が負担していることとなります。すぐに1:1に変更すべきです。国保は1:0です!

広島市の児童生徒の4人に1人は就学援助を受けています

12月議会の補正予算額17億9802万8千円内、就学援助費の補正額が2億754万1千円。就学援助費が追加補正された例は、過去にありません。しかし支給基準は10年前と変わっていません。(家族4人世帯の場合、家族総収入が約495万円です。)しかし、支給額は2倍に増えています(広島市の就学援助受給者の推移と決算額)★学用品・給食費・修学旅行費などの費用を支給します



	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19見込
児童生徒数	105573	103230	100989	98998	97545	96328	95709	95094	95680	95600	95538
認定者数	12364	12994	14119	15528	17157	18896	21154	21670	22585	23452	24353
認定率%	11.7%	12.6%	14.0%	15.7%	17.6%	19.6%	22.1%	22.8%	23.6%	24.5%	25.5%
支給総額(百万円)	659	724	799	890	992	1097	1233	1311	1370	1456	1502

17政令指定府市中、広島市の認定率は、大阪市38.0%、新潟市24.8%について3位と高い認定率となっています。平成19年度見込み約15億円は、平成17年度からは市の一般会計から支出されています。他都市に比べて認定率が高いのは、申請者と全児童生徒に配布しているのを利用し

ずいのに3割の説明を受けずに、10年前に比べると認定率は倍にふえています。低所得者層から受けていただくためです。教育を受ける権利は、日本国憲法第26条で保障されており、義務教育は「無償」となっています。社会の縮図をランドセルにつめて子どもは学校に歩む。教育委員会予算としての確保は、本当に必要なものが気軽に利用できる制度として継続してほしい。

広島市の児童生徒一人当たりの教育予算…年間費用は小学生約20万円、中学生約23万円です。(中学校のスクールカウンセラーや県費教員の人件費などは含んでいません)

広島市は学校の適正配置について、30年間、何もしてきませんでした。

12月議会条例改正 日浦西小学校廃校

本物の陽の中に小学校が初めて
石碑に「友愛」249年100周年と...

平成20年度から、安佐北区の日浦西小学校が廃校になります。平成19年度の児童数5人、来年度は2人になるので廃校とするものです。地元の児童も隣の日浦小学校に通っており、H16年度からは新入生が入っていません。何人なら学校と言えるのか。学校は集団で学習する場です。集団の中で規律を学びます。集団の中で、人と人との交流を学びます。子ども達の教育のことを考え、もっと早い段階での措置が必要だったと思います。

何もなかった理由

広島市はS52年依頼、30年間学校の統廃合を行っていません。「全体的に児童生徒が減少傾向にあることは、把握していたが、一部の過大規模校への対応を優先してきたこと。少人数教育の具体的な実施プランにもとづく学校規模により検討を行う必要があった」ので30年間何もなかったとの答弁でした。

小規模化への対応を中心とした適正配置計画の策定に取り組みたい

広島市の児童生徒数はS57年度をピークに減少し続けています。小学校の統廃合は地域、コミュニティーを巻き込む大きな問題です。きちんとした方針と説明が求められます。しっかりした議論のうえ方針と基準を作ってもらいたい。

英語がしゃべれる子どもになる

言語数理運用科/ 千田小学校

「広島市はお好み焼きが有名だけど、全国で見たら店の数はどうなんだろう」とグラフを読み取る授業。グループで話し合いながら、45分授業で、結論まで導いていました。

英語科/幟町小学校

外国人の先生と担任の先生とで英語遊び、ゲームをしながら英語の言葉に慣れていく授業。教科書もノートも無い。外国人の先生が繰返しゲームの説明を行います。子ども達は想像を膨らませゲームを理解し行動します。大きな声でクラスメイトと簡単な会話を繰返し行います

とても楽しそうでも、この授業は全ての小学校で出来るだろうか。外国人の先生が確保出来るだろうか。英語をいかに英語の授業、中学生おなじみの楽しさを続けるのだろうか。課題も感じました。この子たちは英語がしゃべれるようになると思います。授業の中で英語としゃべっているから、議会で早い段階での英語の導入に否定的な意見や現実に入らなくなった時、英語が使わなければならぬ人間は、この子たちの人間ではないかという話もありました。子ども達は柔軟です。英語が話せれば世界が広がるかもしれません。何でもできるようにしてほしい。教育長が「教育を受けるなら広島よ！」というように頑張りたいと答弁されたことあり。教育は幅広い教育を受ける子ども達は多様です。教育委員会一丸となって頑張ってもらいたい



公民館の指定管理に民間は参入できなかった

12月議会で、各区1館ずつ8館の公募による指定管理者が確定したので、議案としてあがってきました。公募を行った結果8館とも「ひと・まちネットワーク」が管理者となりました。民間運営との比較検証は出来なくなりました。参集してきた民間事業者は、ビル管理の会社や人材派遣の会社です。今後の62館の指定管理の扱いは、現時点では決まっていない。指定の単位についても検討していく旨の答弁をしました。公民館は地域の拠点です。地域が学習していく場です。「公民館運営への地域住民参画検討を行う」きれいな言葉の答弁ですが、実際、だれが誰に何をしてくれるのか?たとえば、彩が丘町内会が、NPO彩が丘でも作って、公民館の指定管理者にチャレンジ出来るように指導する仕組みでも作るべきと思う。

ちょっとおまけ

表面の休憩時間の廃止について、面白い質問もありました。「チャムは12:15に鳴らすのね」中途半端な時間にチャムが鳴るのは、混乱を招くので、現行のままです。広島市のチャムは、S35年少年の非行防止のため、市民の募金により「愛の鐘」としてステッカーとともに寄附されたものなんです。現在も当時のチャムは、毎日優しい音色をひびかせている。時報規則に決められて7時、8時半、0時13時、17時、22時...47時使われています。チャムの鳴るの前の何分かにチャムが鳴る。